

探訪 ミュージアム  
連続講座  
2020

# 大阪城と その周辺

全3回

本年のミュージアム連続講座は「探訪 大阪城とその周辺」をテーマに開催します。大阪のランドマーク、大阪城。現在の姿は元和6(1620)年に始まった再築工事を起点とし、本年、400年を迎えました。この節目の年にちなみ、発掘調査や地質調査、石垣や瓦の分析など、最新の研究を通じて、大阪城に迫ります。さらに豊臣の美術、近隣に作られた日本初の化学の学校についてもお話します。

**日程**：2021年2月18日(木)・25日(木)・3月4日(木)

**時間**：18:30-20:15 (18:00 開場)

**定員**：50名 **参加費**：無料

**会場**：大阪市立難波市民学習センター 講堂

**申込方法**：裏面をご参照のうえ、事前にお申込みください。

**申込締切**：2021年2月3日(水) ※3回通しのお申込みになります。



# 探訪 大阪城とその周辺

ミュージアム  
連続講座 全3回  
2020

申し込み方法 締切: 2021年2月3日(水)



インターネットからの申し込み

大阪市生涯学習情報提供システム「いちようネット」  
(<https://www.manabi.city.osaka.lg.jp/>)から、「講座・イベント」を選択し、キーワード欄に「ミュージアム連続講座」と入力・検索のうえ、お申し込みください。



センターへ来館しての申し込み

返信用はがき、もしくは、はがき代63円をご持参のうえ、センター窓口にてお申し込みください。開館時間 9:30~21:30(日曜・祝日17:00)〈休館日毎月第1・3水曜日〉



往復はがきでの申し込み

名前、住所、電話番号、返信用宛名面をご記入のうえ、難波市民学習センター「ミュージアム連続講座」係までご応募ください。(※2021年2月3日必着)

会場: 大阪市立 難波市民学習センター講堂

〒556-0017 大阪市浪速区  
湊町1丁目4番1号 OCATビル4階  
<https://osakademanabu.com/namba/>



●Osaka Metro(旧:市営地下鉄)各線「なんば駅」、南海電車「難波駅」、近鉄・阪神電車「大阪難波駅」よりなんばウォーク、OCATウォークを西へ。「OCAT」「JR線」の表示に沿ってお越しください。●JR「JR難波駅」すぐ。●大阪シティバス(旧:市バス)「JR難波駅前」下車すぐ。

問い合わせ先



TEL: 06-6643-7010

〈個人情報の取り扱いについて〉

■ご記入いただきました個人情報は、講座に参加の確認や、講座に関するご連絡のためにのみ使用し、お申し込みをもって使用に同意されたものとさせていただきます。■主催者: 大阪市教育委員会 ■ご記入いただきました個人情報は、講座の開催・運営に必要な範囲(上記利用目的の範囲)において、個人情報の全部または一部を預託・共同利用する場合があります。〈共同利用者の範囲: 大阪教育文化振興財団・SPS 共同事業体(指定管理者)、事業体構成団体: ①一般財団法人大阪教育文化振興財団 ②サントリーパブリシティサービス株式会社〉■個人情報の取扱い、苦情及びご相談に関するお問い合わせ先: 個人情報保護管理者代理人 一般財団法人大阪教育文化振興財団 総務課長 宛 Tel: 06-4963-2527(月~金 10:00~17:00)

〈講座の開催中止について〉

「大阪府」に「暴風警報」または「特別警報」が午後4時の時点で発令されている場合、もしくは地震等で大阪環状線とOsaka Metroの双方が運行を停止した場合、講座は中止とさせていただきます。詳しくはセンターまでお問い合わせください。

〈コロナウイルス感染症防止対策について〉

新型コロナウイルス等感染症予防対策の一環と致しまして、以下にご協力ください。  
1. 会場入場時にアルコール消毒等手洗いに協力ください  
2. マスクを着用してご参加ください  
3. 当日、発熱や風邪のような症状のある方につきましては参加をお控えください  
新型コロナウイルス感染症拡大状況によりましては、本講座を中止または延期とさせていただきます場合がございます。あらかじめご了承ください。

大阪城本丸広場で美施中の調査風景



第1回

2021年  
2月18日(木)



京橋口枘形 肥後石

## ①「つについて探ろう豊臣大坂城 —サウンディング調査の方法と成果—」 仁木 宏 大阪市立大学文学研究科 教授

徳川大坂城築城のため地中に埋められてしまった豊臣大坂城については、発掘調査も難しく、実態は不明なままです。近年、ドリルを地中に貫入する方法で地下に眠る豊臣時代の石垣や地表面を探る調査を進めています。古絵図と対照させながら豊臣大坂城の正確な形を復元する方法と成果についてお話しします。

## ②「大坂城 石垣の石材」

川端清司 大阪市立自然史博物館 館長

大坂城の石垣というと、白くてきれいに整形された石垣が思い浮かびますが、これは大坂夏の陣の後、徳川幕府によって再築された石垣です。この徳川期大坂城の地下数メートルのところには、豊臣期大坂城の石垣が埋もれていることが発掘調査からわかってきています。石垣の地学的話題を紹介します。



大方形桐文金箔瓦  
大阪歴史博物館蔵

第2回

2021年  
2月25日(木)



発掘調査で見つかった惣構えの堀跡

## ①「瓦からみた大坂城」

岡本 健 大阪歴史博物館 学芸員

大坂本願寺、豊臣大坂城、そして徳川大坂城に至る各時代の「大坂城」が築かれるにあたり、大量に必要な瓦はどのようにもたらされたのでしょうか。瓦の生産・供給・使用のあり方は、時代の特質を如実に反映しています。本講座では、大坂城跡の発掘調査で出土した瓦の様相から三つの「大坂城」の性格に迫ります。

## ②「豊臣氏大坂城の惣構えと真田丸」

積山 洋 大阪市文化財協会 学芸員

難攻不落の大坂城を守ったのは惣構えの堀でした。慶長19年(1614)、大坂冬の陣では20万とも言われた徳川の軍勢を一兵たりとも寄せつけず、鉄壁の守りでした。戦の最前線となったのが真田丸を中心とする惣構えの南堀でした。天王寺区から中央区にかけて、地下に眠るその遺跡を詳しく訪ねてみましょう。

〈豊臣秀吉像〉(部分)  
慶長5年(1600) 惟杏永祐画  
大阪市立美術館蔵(土岡勝夫氏寄贈)



第3回

2021年  
3月4日(木)



クインラット・K.ハラタマ  
舎密局教頭

## ①「古文書と甲冑が並ばない 特別展『豊臣の美術』の歩き方」 知念 理 大阪市立美術館 学芸員

天下統一を果たし、大坂に政治拠点を定めた豊臣秀吉、およびその一族が関わった桃山時代の美術工芸の粋・約80点を寄せた展示会を、大阪市立美術館で(2021年4月3日~5月16日)開催します。いわゆる「武将モノ」の展示会を多数ご覧になってきた方々も必見!「夢」の時代を華やかに彩った豊臣ゆかりのお宝を選びすぐり、展示会開幕に先駆けて見どころをご紹介します。

## ②「舎密局 大阪にできた日本初の化学の学校」 小野昌弘 大阪市博物館機構 学芸員

明治2年(1869)に大阪城の南東に位置する場所に「舎密局」という学校が作られ日本で初めて、系統的に化学を学べる学校となりました。この舎密局には、オランダから来たハラタマという化学者・軍医が教頭として着任し、日本に化学を根付かせようとしました。舎密局という学校や、当時の化学世界はどのような状況にあったのかをご紹介します。